

「マイナビ 2024 年卒 企業新卒採用活動調査」を発表

総合職採用(学部卒生)で、初任給の引き上げを行った企業は 70.0%
就職活動での生成系 AI の活用は「使い方を慎重に検討し、活用してほしい」企業が 41.2%

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：土屋芳明）は、「2024 年卒 企業新卒採用活動調査」を発表しました。本調査は全国の企業 3,113 社に、2023 年 6 月時点の 2024 年卒の採用活動および 2025 年卒の採用計画について調査したものです。

《TOPICS》

- ◆ 6 月時点で採用充足率が「5 割以上」の企業は 39.5%で、コロナ禍初年度の 2021 年卒を下回る結果に【図 1】
- ◆ 現時点での採用の問題点について、7 割が「母集団（エントリー数）の不足」と回答【図 2、3】
- ◆ 学部卒生の総合職採用について、初任給の引き上げを行った企業が 7 割。理由は「給与制度の見直しで全社員の給与を引き上げたため」が 53.0%で最多【図 4、5、6】
- ◆ 学生が就職活動に生成系 AI を利用している実感がある企業は 4.6%と少数派に【図 7】
- ◆ 就職活動における生成系 AI の活用について「使い方を慎重に検討した上で活用してほしいと思う」企業が 41.2%【図 8、9】

【調査概要】

企業の 2024 年卒採用について、6 月時点の採用充足率が「5 割以上」は前年比 4.8pt 減の 39.5%で、新型コロナウイルスの影響が大きかった 2021 年卒の 40.9%を下回った。インターンシップの実施有無別に見ると、インターンシップを実施した企業で採用充足率が「5 割以上」は 50.1%だったが、実施しなかった企業は「0 割」が 53.5%となった。就職活動の準備期間に学生と十分な接点を持てたかどうかは採用充足率に影響する一つの要素となっているようだ。【図 1】

採用活動における現時点での問題点を聞いたところ、「母集団（エントリー数）の不足（70.0%）」が 2 年連続で増加した。2022 年卒（34.4%）と比較すると 2 倍以上増加しており、直近 2 年で「母集団の不足」が企業にとって深刻な課題となっていることが分かる。学生のインターンシップの平均参加社数は増加傾向で、学生は就職活動の準備期間から既に応募する企業を絞り込んでいる。そのため、エントリー平均社数は年々減少して、企業にとっては母集団の不足に繋がっていると推察できる。【図 2、3】

学部卒生の総合職採用で初任給の引き上げを行った企業は 70.0%、引き上げ額が最も多かったのは 5000 円～1 万円未満で 36.0%だった。引き上げの理由は「給与制度の見直しで全社員の給与を引き上げたため（53.0%）」が最多で、次いで「求職者へのアピールのため（48.8%）」となった。また、上場企業では 1 位は全体と同じく「給与制度の見直しで全社員の給与を引き上げたため（63.0%）」だが、2 位は「定着率を高める・離職を防ぐため（44.1%）」だった。採用競争が激しくなっている就活生へのアピールはもちろん、従業員全体のモチベーションや定着率向上・離職防止も意識しながら給与制度の見直しに繋がった企業が多かったようだ。【図 4、5、6】

新卒採用における AI 活用について聞いたところ、学生が就職活動に生成系 AI を利用している実感がある企業は 4.6%にとどまった。学生調査^{*1}では、就職活動で生成系 AI の利用経験がある学生は 18.4%だったため、学生の利用経験と企業の実感には差があるようだ。学生の活用方法については「文章の添削・校正に使っている」「ひな形になる文章を作成してもらおう」などが挙がり^{*2}、学生はあくまで補助的なツールとして活用しており、利用実態と企業の実感に差があることがうかがえる。【図 7】

*1: [「マイナビ 2024 年卒大学生 活動実態調査 \(5 月\)」](#)

*2: [「マイナビ 2024 年卒 学生就職モニター調査 5 月の活動状況」](#)

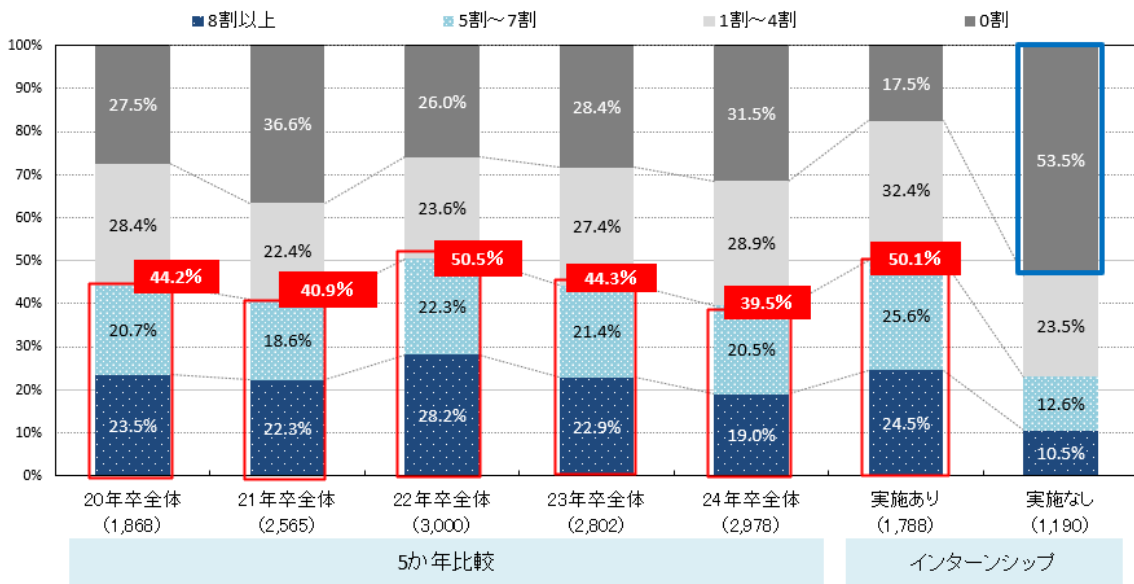
企業に就職活動で学生が生成系 AI を利用することについて聞いたところ、最多の回答は「使い方を慎重に検討したうえで活用してほしいと思う」の 41.2% だった。自由回答をみると、「面白い使い方をした学生がいれば評価したい」「効率化のために上手に使用することは推奨する」など、AI を使いこなすスキルとして好意的に捉えるコメントも挙がった。一方で、「面接等で実際に話した際に齟齬のある発言をしてしまう可能性がある」「入社がゴールではないので自分を誇張しないように配慮してほしい」など、“選考に通過できそうな選考書類の作成”を目的とした AI 活用をすることで、就活生本人の意見と乖離した内容にならないように注意してほしいという旨のコメントが見られた。【図 8、9】

【調査担当者コメント】

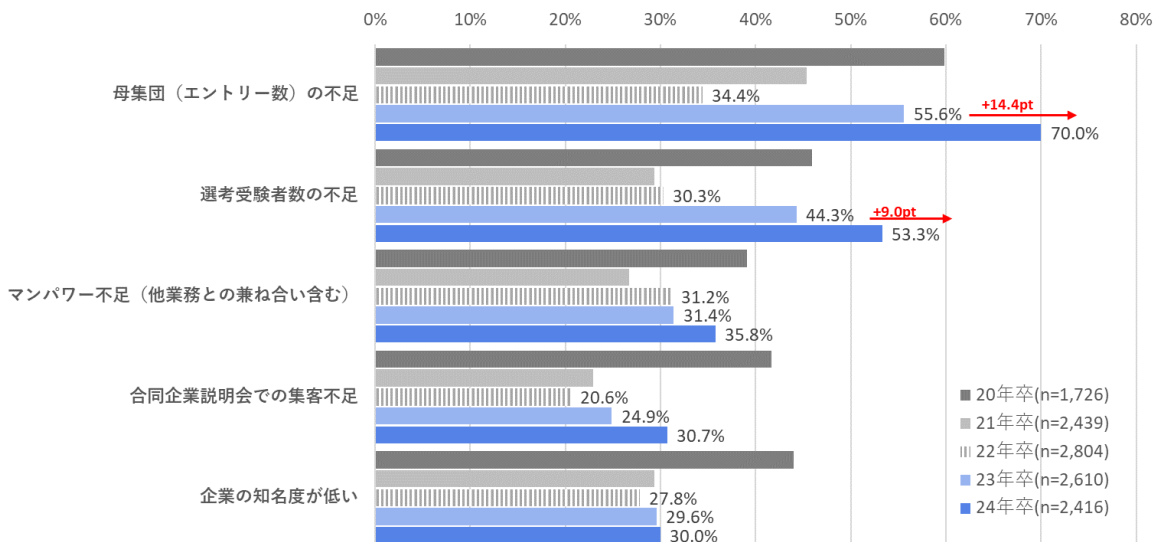
2023 年卒に引き続き、多くの企業でエントリー数不足が問題となっていることが分かりました。企業の採用意欲は高まる一方で確実に若者の人口減少は進み、“なるべく多くの母集団を確保して、入社してほしい学生を見極める”という選考方法には変革が求められているのかもしれませんが、また、学生はエントリーする企業を絞り込む傾向が強くなっていますが、準備期間中の限られた情報のみで受験企業を選定してしまうことにより、視野が狭くなってしまわないように注意が必要です。今まで以上に、企業は一人の学生と、学生は一社の企業との出会いを大事にしていくことが求められていると思います。

キャリアリサーチラボ 研究員 沖本 麻佑

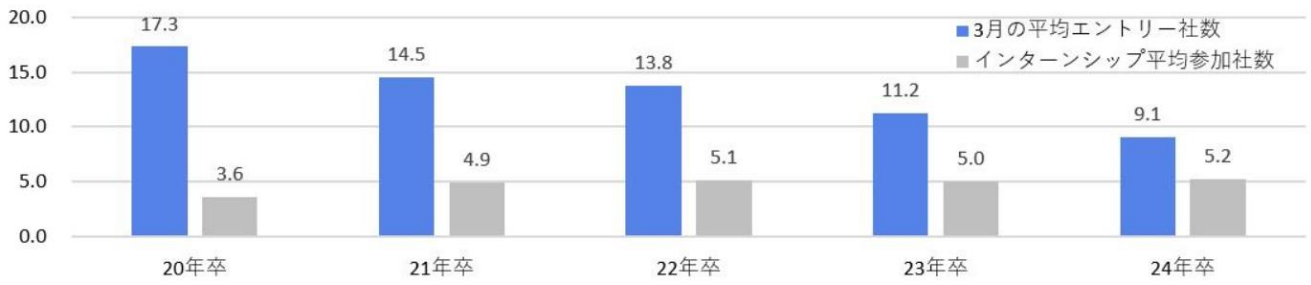
【図 1】採用充足率（採用予定数に対して現在採用が確定している割合）



【図 2】採用活動における現時点での問題点（複数回答、上位抜粋）

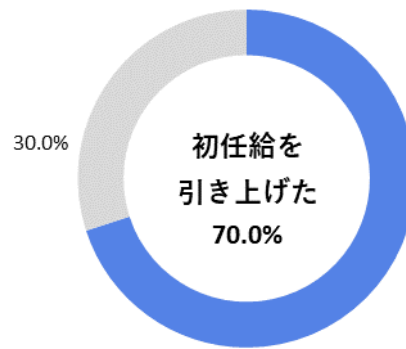


【図3】 エントリー社数とインターンシップ参加社数の平均値

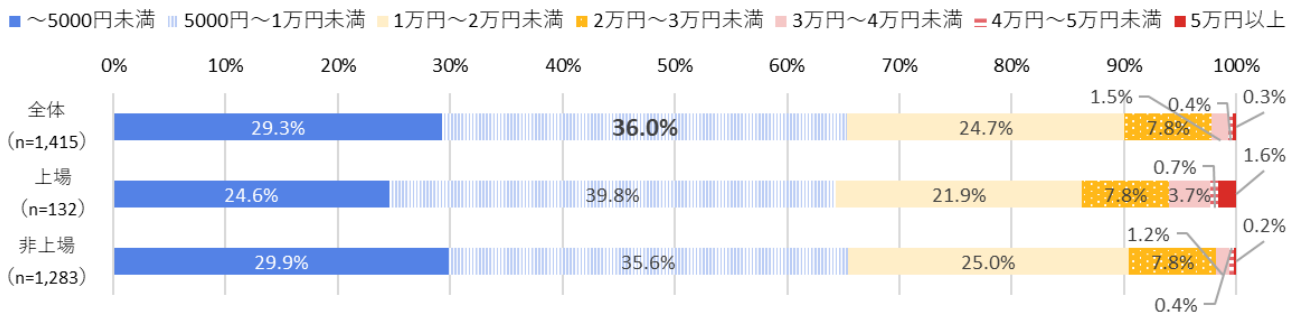


平均エントリー社数：『マイナビ 学生就職モニター調査 3月の活動状況（2020年卒～2024年卒のデータを元に作成）』
 インターンシップ平均参加社数：『マイナビ 2024年卒大学生広報活動開始前の活動調査』

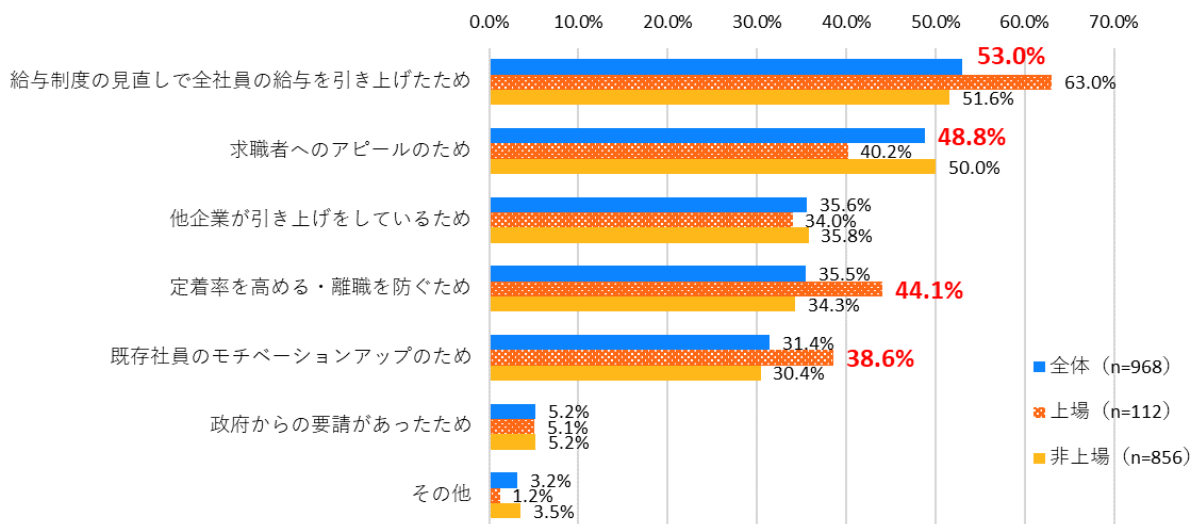
【図4】 <総合職・学卒生について>
 初任給の引き上げ実施有無
 (n=2,014)



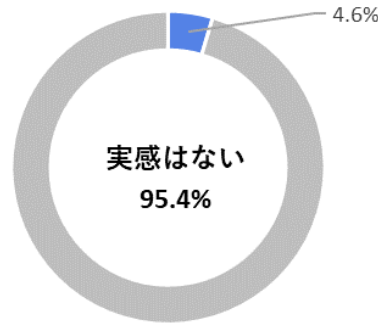
【図5】 <初任給の引き上げを行った企業限定>初任給の引き上げ額



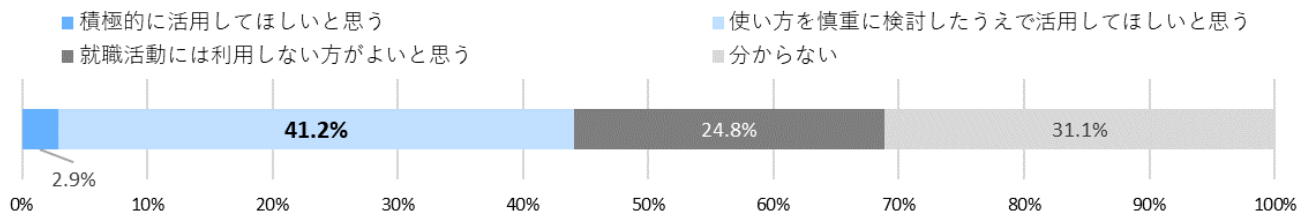
【図6】 <初任給の引き上げを実施した企業限定>初任給の引き上げを行った理由（複数回答）



【図 7】 学生が生成系 AI を活用して就職活動している実感はあるか
(n=2,435)



【図 8】 学生が就職活動において生成系 AI を活用することについて (n=2,429)



【図 9】 学生が就職活動に生成系 AI を利用することについてどう思うか

業種	AI利用についてどう思うか	学生が就職活動に生成系AIを利用することについて思うこと
サービス・インフラ	積極的に活用してほしいと思う	企業も使っているので学生も積極的に使ってよいと思う。むしろ、 <u>面白い使い方をした学生がいたら、スキルを評価したい。</u>
製造 (建設除く)	使い方を慎重に検討したうえで活用してほしいと思う	クリエイティブな職種ではないため、生成系AIを用いて自己PRや志望動機を作成することに対して抵抗はないが、 <u>余程対策していないと面接等で実際に話した際にESの内容と齟齬がある発言をしてしまう可能性がある</u> ので、その点には注意して欲しい。あくまで補助的なツールとして使用するのとどめて欲しいとは感じる。
サービス・インフラ	使い方を慎重に検討したうえで活用してほしいと思う	効率化のために上手に使用することは推奨しますが、 <u>本人の文書作成能力を確認する何かしらのフェーズを選考フローに追加する必要もあるように感じます。</u> (入社後に機密情報などを含む文書をAI作成させる訳にはいかないため、 <u>本人の文書作成能力も確認したい</u>)
製造 (建設除く)	使い方を慎重に検討したうえで活用してほしいと思う	各企業に対して同じ内容(ゼミナールや部活動)の入力には向いていると思う。しかし、 <u>企業に対しての感情や熱意を伝える場合は、拙い文章でいいので自分で考えてほしい。</u>
サービス・インフラ	使い方を慎重に検討したうえで活用してほしいと思う	<u>入社がゴールではないので、自分を誇張しないよう十分に配慮をして使用してもらいたい。</u>
製造 (建設除く)	就職活動には利用しない方がよいと思う	生成系を含め、就活を完全にAIに委ねることは反対。 <u>部分的な利用(自己分析などに使う)なら、必ずしも悪いとは言いきれないかもしれない。</u>

【調査概要】「マイナビ 2024 年卒 企業新卒採用活動調査」概要

- 調査期間 / 2023年6月2日(金)～6月20日(火)
- 調査方法 / WEBフォームより回答
- 調査対象 / 弊社運営の情報メディア「HUMAN CAPITAL サポネット」会員にメールマガジンにて案内、マイナビ 2024 利用企業担当者宛にメールマガジンにて案内、営業担当より各企業にご案内
- 調査機関 / 自社調べ
- 有効回答数 / 3,113 社 (上場 265 社、非上場 2,848 社 | 製造 1,223 社、非製造 1,890 社)
- ※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が 100%にならない場合があります。

※調査結果の詳細は会社 HP のニュースリリース (<https://www.mynavi.jp/news/>) からご確認いただけます。

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社マイナビ
キャリアリサーチラボ 研究員 沖本
Email : myrm@mynavi.jp

【当社に関するお問い合わせ先】
株式会社マイナビ
社長室 広報部 松田
Email : koho@mynavi.jp